

2026年7月5日 聖霊降臨後第六主日礼拝説教  
「だれが王となるのか」(ゼカリヤ9章9～10節)

○預言者ゼカリヤ

- ・紀元前6世紀、捕囚の後、ユダへ戻った民に向かって…
- ・神殿を建て直す人々が、神に立ち帰るための言葉を語る。
- ・来たるべき救い主、終わりのときについても預言した。

○ゼカリヤ1章3節

「わたしに立ち帰れ、と万軍の主は言われる。そうすれば、わたしもあなたたちのもとに立ち帰る、」

\*神は、囚われの民を帰された後、彼らを再び招かれた。

「あなたたちは先祖のようであってはならない。」(4節)

\*御声に聞かず、悔い改めを拒み、国を滅ぼされた人たち

今日のみことば：ゼカリヤ9章9節

「見よ、あなたの王が来る。彼は神に従い、勝利を与えられた者 高ぶることなく、ろばに乗って来る」

\*力でも、戦いによるのでもなく、神に従うことによって

○ゼカリヤ9章10節

「わたしはエフライムから戦車を エルサレムから軍馬を絶つ。戦いの弓は絶たれ 諸国の民に平和が告げ知らされる。」

\*戦車、軍馬、戦いの弓なくして、平和は訪れるのか？

☆人の血を流さず、自らの命を捨てて、勝ちを治める御方

☞御声に従い、心を向き直して、憐れみを求めていたら…

○マタイ21章4節

「それは、預言者を通して言われていたことが実現するためであった。」

\*みことばどおり、エルサレムに入られた王なるイエス。

問：あなたのうちに、イエスを王として迎える心はあるか？